

# 田辺家三代記

厚見郡東島村（岐阜市）の有力農民出身者が、下級武士に取り立てられ出世もしていた。また田地を所有して年貢を納め、さらには商家に養子に出していた子に戻し跡継ぎにしていた。

永井氏加納藩（岐阜市）下級武士の田辺家三代にわたる日記『見聞録』は、江戸後期より明治維新までの、加納城下はもとより全国的な動向から、家庭の事情まで広範囲に綴られていた。特に明治維新前後の動乱期はリアルである。

この日記を読み解き、あまり知られていない下級武士の実態を明らかにする。

